

## 3) 運営上の課題と要検討項目

### ○施設の有効活用

- 施設の目的である「農商工産業の情報発信」と「まちの駅としての交流拠点」としての役割を十分に果たすための有効な方策を検討する必要がある。具体的には、利用者や町民をはじめ多くの人々の目や耳に触れる認知度の向上や、「働きたい、暮らしたい」というブランドの強化・確立、これらによるビジネス機会の増大や人材の確保、交流・定住人口の増加を戦略的に推進する必要がある。
- 上記を達成するためには、第一に、拠点施設としてより多くの利用者に利用されることが重要であり、利用促進のためのプログラムの再検討が必要である。また、常設展示による情報発信はPR力に乏しく、体験を含むより訴求力のあるプログラムとして、農と連携した飲食や購買に関わるプログラムや、工業と連携したビジネスに関わる技術の獲得やアイデアの交流に関わるプログラムの検討が望まれる。
- 一過性のイベントではなく、プログラムの継続的な実施のためには、ビジネスモデルの検討が不可欠となる。収益（収入）を生み出すフレームワーク（事業）自体をつくり出すことを検討する必要がある。

### ○収益事業の展開

- クロスピア1階については、2つの調理室を最大限活用し、競争力のある民間事業者の参入も視野に入れつつ、地域の魅力・産業の発信と、待合場所と、競争力のある飲食・販売サービスを兼ねるような一体的な利用を検討する必要がある。
- クロスピア2階の交流室やロビーについては、産業振興を促進するプログラムの充実と、より多くの利用を促す方策を検討する必要がある。産業人材の育成のためのIT教室やプログラミング教室として活用するなど、民間事業者と連携した活用方策も考えられる。

### クロスピア久御山 予算関係

年度	総事業費 (千円)
平成24年度 決算	22,491
平成25年度 決算	20,804
平成26年度 決算	20,582
平成27年度 決算	16,863
平成28年度 決算	20,453
平成29年度 決算	20,186

平成29年度 主な費用内訳	
賃金（嘱託員2名、 臨時職員4名）	11,726
需用費（光熱水費）	4,139
委託料	2,287
負担金・補助金及び 交付金	2,060

## クロスピア久御山

### ○管理運営の仕組み

- 産業の情報発信と交流の拠点としての有効な利用、とりわけ利用者数の向上とプログラムの充実を図るために、民間事業者のノウハウや技術力、創意工夫の活用を視野に入れて、管理運営の仕組みを検討する必要がある。
- 運営管理の効率化を図るためには、ランニングコスト抑制を行うとともに、収入の増加を図る事が不可欠であり、事業規模の拡大等の方策を検討する必要がある。ただし、クロスピアの延床面積は約900 m<sup>2</sup>にとどまり、施設単体での収入増には限界があるため、より規模の大きい事業実施のためには、複数の施設（中央公園や荒見苑、公民館、ふれあい交流館など）や複数の事業との連携を検討することが必要となる。また、施設の大規模改修やリニューアルも視野に入れる必要がある。
- 収入の増加方策を含めた施設の有効活用のために、指定管理者制度の導入などの仕組みを検討する必要がある。



## 調査実績

2018年4月	まちづくり方針のイメージボードの作成	8月10日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第7回 (久御山町内の若手農業者)
5-7月	まちのえきクロスピア・中央公園の利用現況調査 現況模型の作成、現況CGの作成 コンセプトの検討	9月21日	週末農業体験農園の見学及び久御山町有施設の活用可能性 に関する意見交換 第8回 (社会福祉法人、社会人向け農業学校NPO法人)
8月	中央公園プラン詳細の検討(パース、模型、平面図等) 学生デザイン・ワークショップの開催	10月13日	久御山町まちづくりシンポジウム 「久御山町の地域資源を活かしたまちづくり提案に関する 報告」資料による調査検討成果の中間報告
ヒアリング調査		10月17日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第9回 (体験農園運営事業者、商社)
5月15日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第1回 (体験農園運営事業者、商社)	11月2日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第10回 (社会福祉法人、社会人向け農業学校NPO法人)
6月15日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第2回 (体験農園運営事業者、商社)	11月12日	久御山町魅力発信検討会議 調査検討成果の報告と意見交換
7月10日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第3回 (まちの駅クロスピアくみやま運営協議会)	12月14日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第11回 (官民連携に実績のあるコンサルタント)
7月15日	社会人向け週末有機農業学校の見学及び久御山町有施設の活 用可能性に関する意見交換 第4回 (社会人向け農業学校NPO法人)	1月5日 (2019年)	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第12回 (官民連携に実績のあるコンサルタント)
7月20日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 「久御山まちのにお構想」中間報告資料の報告 (久御山町信貴町長・中村副町長・関係課)	2月8日 (2019年)	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第13回 (官民連携に実績のあるコンサルタント)
7月23日	久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第5回 (大手総合ファイナンス会社) 久御山町有施設の活用可能性に関する意見交換 第6回 (久御山町内の若手農業者)		

住×農×工の 久御山“まちなにわ”構想

とは

中央公園やクロスピアを活用して、「食」戦略に基づいた  
住×農×工の交流を促すためのビジョン  
です。

住

憩いと食が楽しめる魅力的な住環境づくり

農

農業を知り、学び、体験できる環境づくり

工

地産地食による健康な就業環境づくり

久御山町総合戦略  
(H28) に基づき、

を図ります。

# コンセプト

久御山の暮らし・産業の目標像

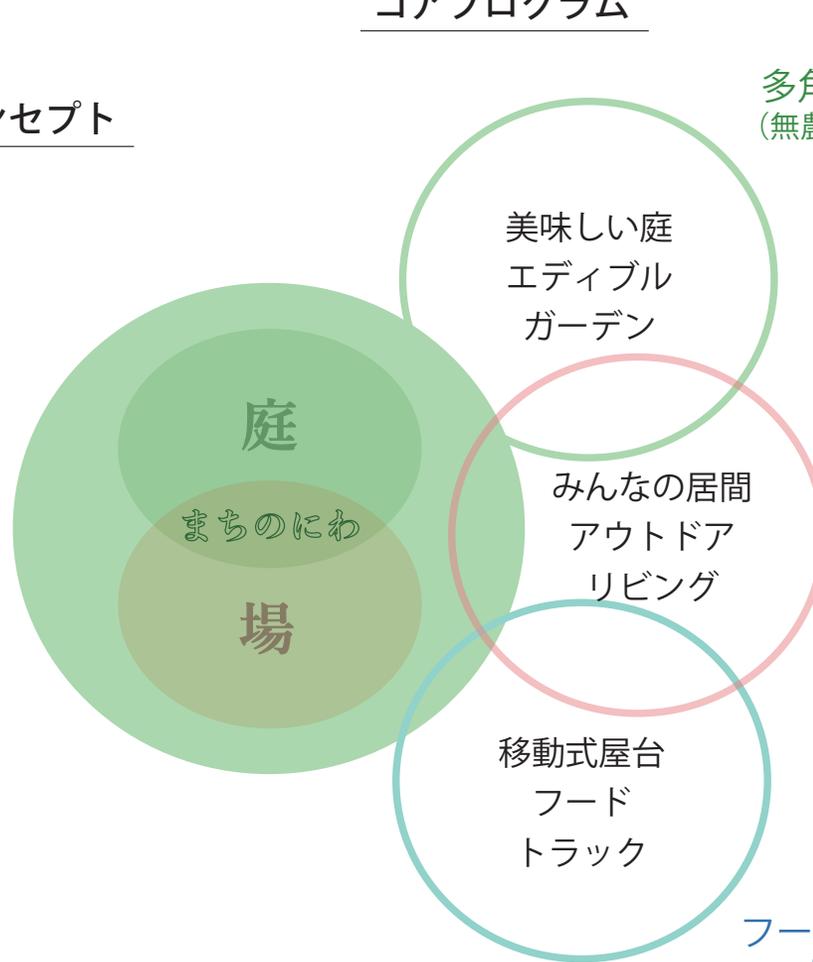
## 久御山“まちなにわ”構想

### 期待する取組

### コアプログラム

### コンセプト

人・暮らし・産業をつなぎ  
生き生きとさせる  
コモンズとしての  
“まちなにわ”



多角化の苗床  
(無農薬, ハーブ)

地産地消

菜園教育

マルシェ

憩いの居場所

療育・福祉

工業団地  
移動販売  
(ランチ営業)

フードトラック  
×ものづくり

農

農業ブランドの発信と育成

住

緑と食育を通じた  
多様な世代の交流

工

移動型食堂による  
健康食サポート

住×農×工の交流と  
憩いの場となる  
「まちなにわ」

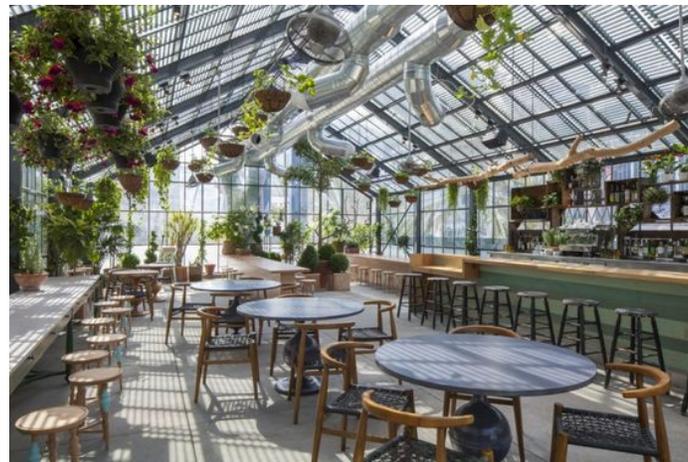
# 美味しい庭 エディブル・ガーデン



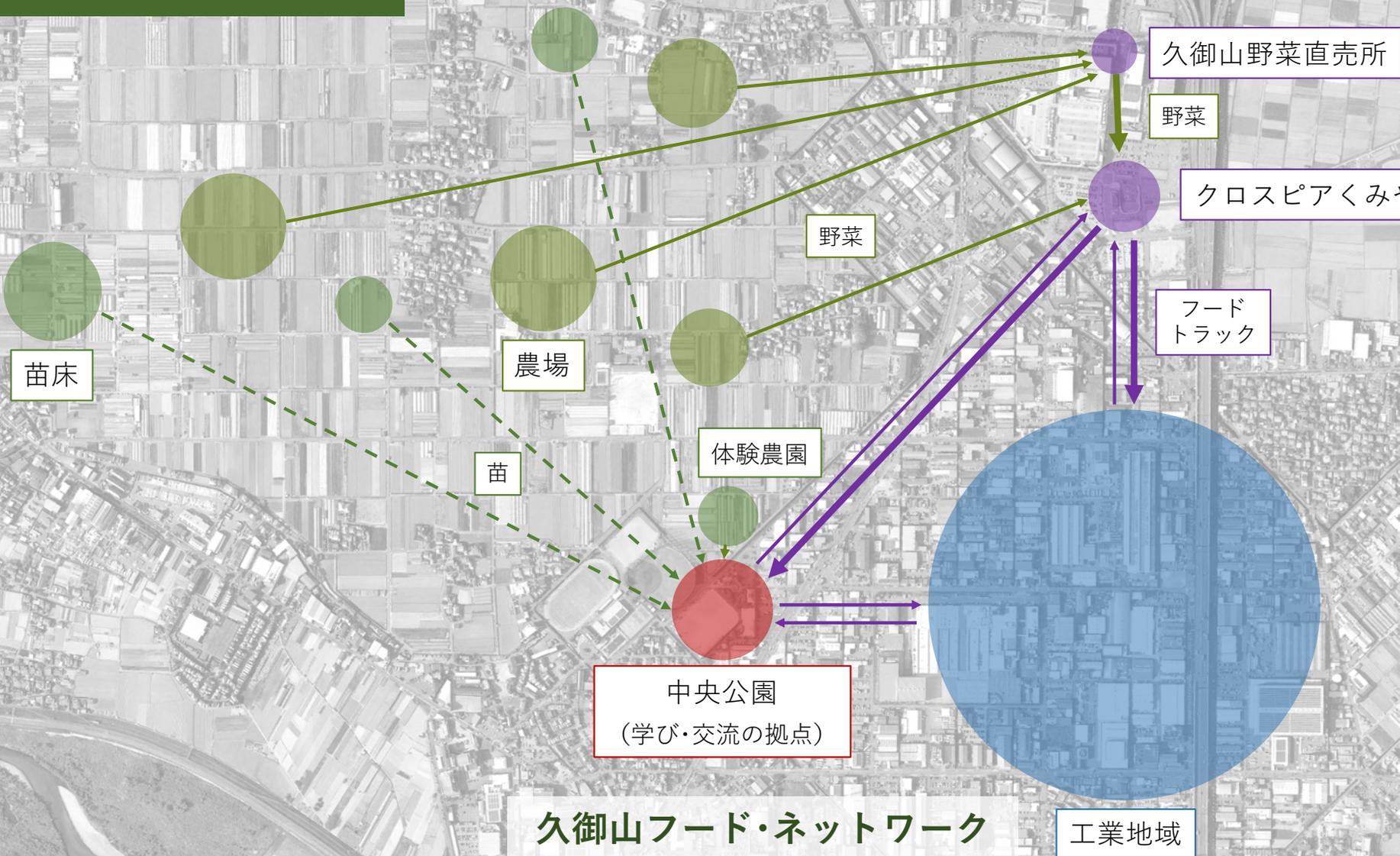
# みんなの居間 アウトドア・リビングルーム



# 移動式屋台 フードトラック



# プログラム



久御山中央公園を、久御山フード・ネットワークの拠点として、野菜やハーブなどを育てて食べる実験農場兼エディブルガーデンとする。それを菜園教育や食育、レストランでの提供、フードトラックによる移動販売に活用する。

ガーデンで育てる野菜は、久御山町内全体を苗床として育て、成育後は中央公園内のレストランで提供するほか、クロスピアくみやまで調理し、フードトラックに乗せて、工業地域や中央公園にて、食事として提供する。

これにより、課題となっている工業地域の就労者（昼間人口2.8万人）の食環境改善を図る。また、イベント時や休日には、久御山の農業と住環境としての魅力を、広く久御山町内外の人々に伝える。

# 中央公園 整備イメージ

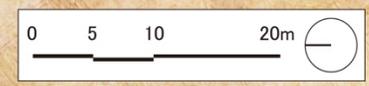


# 中央公園 平面図



カフェ

エディブルガーデン



# 中央公園 整備イメージ



# 中央公園 整備イメージ



# 中央公園 整備イメージ

